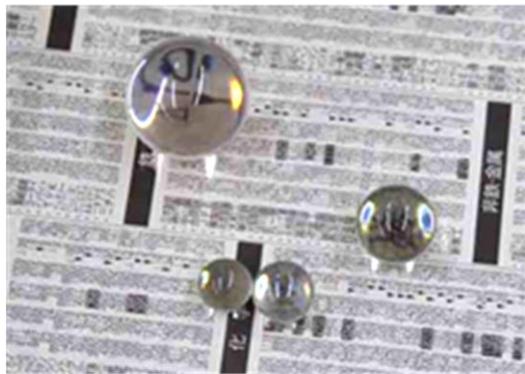


2021 教室・講座・イベントの成果報告

| | | | | |
|--------|--|--|-----|--------|
| 主催者名 | はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ「環境体験教室」 | | | |
| 題名・副題 | 手作りミニ顕微鏡でいろいろな細胞を見てみよう ～生き物を大きくしてみると何が見えるでしょう？～ | | | |
| 月日・時間 | 6月13日(日) 10:00～12:00 | | | |
| 開催場所 | はまぎん こども宇宙科学館 2階・実験室 | | | |
| 部会・講師名 | 大気・水環境部会 長村吉洋 | 参加数 | 12名 | 講師数 5名 |
| 写真・画像 |  |  | | |
| | 植物と動物の細胞の違いを学びました | 2個のルーペを重ねて見る実験 | | |
| |  |  | | |
| | 大きさが異なるビー玉で文字を見る実験 | 手作りミニ顕微鏡で細胞が見えた | | |
| 成果解説 | <p>この教室では、細胞と生物について学び、ミニ顕微鏡を作って植物の細胞を観察しました。</p> <p>始めに、動植物など生物は、すべて細胞からできており、細胞によって生命が保たれていることや、私たちの食べ物の細胞についても画像を見ながら学びました。細胞を見るためには顕微鏡が必要であることも知りました。物を拡大してみる実験では、凸レンズの働きをルーペやビー玉、水滴などで新聞の文字が大きく見えることを確かめました。</p> <p>顕微鏡工作では、小さな段ボール板片に穴をあけ、ビーズ玉をはめ込んでミニ顕微鏡を作りました。更に、プレパードを作って、玉ねぎの細胞とジャガイモのデンプンを観察しました。その他にも植物の葉や花粉も観察しました。ミニ顕微鏡にはカラーペンで自分の好きな絵やデザインを書き込みました。</p> <p>最後に、動植物など生物は、地球の環境に守られて生きており、私たちの食べ物でもあるので生物多様性を守ることが大切と説明し、理解してもらいました。</p> | | | |